

事業報告

平成26年度(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期における日本経済は、年度当初において消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響もみられたが、徐々に和らぎ、年度全体としては順調に回復を続けてまいりました。この中で東海経済については、生産は自動車を中心に高めの水準で、個人消費も雇用、所得環境が改善する中で徐々に持ち直してきています。観光・旅行業では地域差が大きく、名古屋地域では、とりわけ新年に入り中国、東南アジアなどからの訪日旅行客の増加が目立つようになってまいりました。

このような状況の中で、当社は平成26年6月に開業60周年“還暦”を無事迎えることができました。これも一重に株主の皆様をはじめ多くの愛知県民、名古屋市民の皆様の長きにわたるご支援・ご協力のお陰でありまして心から感謝申し上げます。その還暦を迎えました平成26年6月20日には記念事業として最新のLEDを導入した新ライティングシステム「煌」を整備し、大村愛知県知事、河村名古屋市長出席のもとで点灯式を開催いたしました。この新ライティングシステムを活用して、10月にはESDユネスコ世界会議のPRイベント、11月にはノーベル賞受賞のプレイベント「アカリナイト」点灯式、1月には「名古屋友禅モード」、2月には「セントレア開港10周年記念」、3月には「世界緑内障週間」など積極的な活用を図り、栄地域からの情報発信に貢献してまいりました。

当社の基幹事業であります展望事業については、60周年記念事業として夜の都市景観の魅力創出「光の万華鏡」など多彩なイベントを開催するとともに市内観光施設やホテルとの連携強化を図るなど積極的な営業活動を展開してまいりました。

一方、当社を取り巻く経営環境は60年間で大きく変わり、平成25年7月から放送事業者所有の塔体資産を当社が譲り受け、塔体全資産を当社が所有して運営2年目に入りました。平成16年度から進めてまいりました再生事業の検討は、名古屋市による栄地区グランドビジョンに基づく久屋大通公園整備の検討と連携を図りつつ平成27年度から施設の基本設計ならびに実施設計への着手をめざして進めてまいりました。

この結果、当期における有料入場者数は220,004人(前年に比べ4.8%増)、また、無料を含む総入場者数は269,852人(前年に比べ11.4%増)となりました。これにより、当期における売上高合計は210,267千円(前年に比べ6.5%増)、販売費及び一般管理費合計は204,176千円(前年に比べ9.5%増)となりました。したがって、営業利益は5,821千円(前年に比べ45.1%減)となり、当期純利益は5,824千円(前年に比べ20.5%増)となりました。

平成27年度は10年以上にわたる再生事業の検討結果を踏まえ、再生事業に必要な施設整備に向けた基本設計・実施設計ならびに再生事業の基本計画の策定を進めてまいります。つきましては、平成27年度には株主の皆様をはじめ、多くの企業、団体そして愛知県民、名古屋市民の皆様に施設存続に向けた一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。いよいよ会社存続の可否をかけた正念場にまいりました。役職員一同全力をあげる決意でございます。株主の皆様には、誠に心苦しい限りでございますが、前期に引き続き今期も無配とさせていただきますので何卒ご理解の上、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。